

July 26 2023 vol.143

いわての看護

Iwate Nursing

いわての
ナースセンタ 78号
だより

合併号

No.17



盛岡市 都南大橋と盛岡花火の祭典(夏)

●令和5年度 岩手県看護協会 会員数の動向

保	助	看	准看	計
293人	321人	6,804人	115人	7,533人
令和5年度 災害支援ナース登録者				
82人				

令和5年7月7日現在

読者アンケート



「読者アンケート」に回答いただいた方の中から、抽選で若干名様に粗品をプレゼントしま〜す!!
奮って回答ください。





会長あいさつ



公益社団法人岩手県看護協会
会長 相馬 一二三

皆様には、日頃より当協会の事業にご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度岩手県看護協会通常総会が6月17日に開催され、皆様のご協力により無事、終了することができました。改めて感謝申し上げます。

今年度の重点事業の項目は、昨年度と同様ですが「地域で暮らす全ての人々を支え健康な社会」を醸成するため、看護職全体の質の向上や課題解決に向けて積極的に取り組んでまいりたいと思っております。研修の新企画では、実習指導者講習会修了者のプロンプター育成やがん患者の外見的な不安を支援するアピアランス研修を取り入れました。また、研修管理システム「マナブル」を導入し、オンライン研修も増やして遠方の方も研修に参加しやすい環境を整えましたので、多くの方が参加していただくことを期待しております。

感染症法・医療法等の改正により、災害時の医療に加え感染症発生・まん延時の医療を確保するために「災害・感染症医療確保事業に係る看護職員等確保事業」に取り組む予定です。この事業は、国から日本看護協会が委託され各都道府県看護協会が研修を実施することになりました。令和6年4月から施行され、国の主導により新たな応援派遣体制が構築されます。よって、この1年間を移行期間とし厚生労働大臣が提示する研修修了者が「災害・感染症医療業務従事者」として登録されます。また、看護職の安全を一層、担保できるよう活動の位置づけなどが明確になる予定です。当協会では、研修の準備を行っておりますので、多くの方が研修に参加していただくよう、お願いいたします。

結びに、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

受賞報告



厚生労働大臣表彰を受賞して

姉帯 敏子

この度、岩手県看護協会の推薦により、優良看護職員の厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。協会会長はじめ、協会関係者・会員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

今回、協会長より推薦のご連絡を受けた時は、信じられない気持ちでしたが、これまでの長きにわたる看護実践に関わる評価と受け止め、誇りに思い、受賞させていただくことにいたしました。

私は、岩手医科大学附属病院に定年まで働くことが出来ました。現在は、看護協会の岩手県委託事業に微力ながら関わっています。これまで多くの方々からのご指導・ご支援に感謝申し上げます。専門職としての資格を取得しているからこそその強みであると改めて思っています。皆様のご健勝とご活躍を心より祈念しております。



令和5年度 日本看護協会会長表彰を受賞して

北村 和子

このたび、岩手県看護協会の推薦により日本看護協会会長表彰を受賞いたしました。これも、諸先輩をはじめ協会役員・会員の皆様のご指導お力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

看護協会員として看護管理者の時は、職能団体の役割を担うことは社会貢献活動の一翼と考え、多くの看護職員に協会の役員・委員を担っていただくことを役割としていました。また、私自身も先輩に導かれて貴重な学びを得ながら教育部と専務理事と協会事業の推進に務めることができました。

職能団体の看護協会の役割は大きく、看護職を取り巻く社会の変化に対応する看護の課題に力強く取り組んでいますので、今後も、監事の立場で協会活動に努めていきます。

令和5年度（公社）岩手県看護協会役員紹介

副会長／千葉 澄子

国民の健康な生活実現のため、職能団体として社会に貢献してまいりたいと思います。



副会長／佐藤 悦子

一味同心の気持ちを大事に取り組んでまいります。



専務理事／高橋 弥栄子

2期目となります。看護職の皆様のため常に真摯に取り組んでまいります。



常務理事／千葉 香

会員皆様と協力し、看護協会事業に取り組んでまいります。



常務理事／目時 のり

看護職の皆様や関係団体と連携し、看護の質向上のための継続教育が発展できるよう取り組んでまいります。



書記理事／富岡 幸子

2年目となりますが引き続き皆様からご指導を頂きながら頑張りたいと思います。



書記理事／高橋 佳世子

新任理事としてご指導いただきながら誠心誠意努めてまいります。



会計理事／千葉 るり子

会員の皆様と力を合わせ看護協会を盛り上げていきたいと思ひます。



会計理事／佐々木 真紀子

皆様のご指導をうけながら、協会の事業運営に努めてまいります。



保健師職能理事／後藤 未央子

地域保健活動推進に向け、皆様と力を合わせ活動してまいります。



助産師職能理事／蛸崎 奈津子

助産師の役割がより発揮される体制づくりに尽力してまいります。



看護師職能理事Ⅰ／千葉 真理子

看護職がより輝けるよう協会事業の運営に尽力してまいります。



看護師職能理事Ⅱ／井上 和子

これまでの学びを活かし、皆さまと力をあわせ努めてまいります。



准看護師理事／柏倉 勝子

昨年度に引き続き、微力ではございますが協会活動に取り組んでまいります。



盛岡地区理事／久保田 桜

地区理事として精進します。皆様のご支援をお願いいたします。



花巻地区理事／工藤 直人

支部役員力を結集し、地域に貢献できるよう努めてまいります。



北上地区理事／吉川 朗

役員の方々を合わせ活発な活動ができるように頑張ります。



奥州地区理事／菅原 宏則

昨年度は支部活動が困難な状況でしたが、今年度は活発な活動を目指しております。



一関地区理事／菅原 洋子

役員一同力を合わせて取り組んでまいります。



大船渡地区理事／高橋 美保

支部役員と協力し、楽しく活発に活動できるようがんばります。



釜石地区理事／桑畑 久美子

役員全員で力を合わせ、1年間取り組んで行きたいと思ひます。



宮古地区理事／三河 良子

役員の皆様と協力し、支部活動に取り組んでまいります。



久慈地区理事／山田 由美子

久慈支部の皆様と協力し、地域に貢献出来るよう努めてまいります。



二戸地区理事／齋藤 薫

初めての大切ですが、支部役員と協力し取り組んでまいります。



監事／北村 和子

看護職の社会貢献に敬意を表します。監事の任務に努めます。



監事／小笠原 一行

監事の小笠原です。「できることをやる」それだけです。



よろしくお願ひします



令和5年度 日本看護協会 通常総会

6月7日、幕張メッセで令和5年度日本看護協会通常総会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行されたことから、通常開催となり、全国から746名、本県からは8名の代議員が参加しました。

3期6年の任期を終え勇退される福井会長の挨拶では、“任期の約半分は新型コロナウイルス感染症と対峙しながらの活動であった。そのような中、日本看護協会会長として、看護職を支援し、擁護し、代弁する職能団体としての役割の重さを改めて感じている。そして、最前線で働く看護職の皆様に対し、心から深く敬意と感謝を申し上げる”との労いの言葉がありました。



また、今後もウイルスとの戦いは続くが、ポストコロナ時代に向け、人々の健康な暮らし、健康な社会に関わる医療・看護の使命、役割は大きい。ぜひとも、専門職としての強さをもつことに今まで以上に意識的であってほしいとの我々への思いとともに、これからも、力を合わせて様々な課題を乗り越えられるよう協力をお願いしたいと団結を呼びかけられました。

令和5年度改選役員及び推薦委員は選挙により全員が承認され、福井会長から高橋会長へとバトンが渡されました。

報告事項では、令和4年度事業報告等に続き、令和5年度の重点政策・重点事業について説明がありました。重点政策は昨年度に引き続き以下の4項目で、令和5年度は計画期間3年の2年目となり、当協会もこれに基づき事業を推進していく予定です。

- 1 全世代の健康を支える看護機能の強化
- 2 専門職としてのキャリア継続の支援
- 3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
- 4 地域の健康危機管理体制の構築

質疑応答では、予定時間を過ぎても質問者が途切れず、発言ができない方も出るほど活発な意見交換がなされました。

最後になりましたが、今回、当協会から、日本看護協会会長表彰を北村和子氏、優良看護職の厚生労働大臣表彰を姉帯敏子氏が受賞されました。おめでとうございます。

(副会長 千葉 澄子)

令和5年度 全国保健師交流集会

全国保健師交流集会が、6月8日に開催されました。この交流集会をもって退任される鎌田久美子委員長のご挨拶では、長期に及んだコロナ禍において、全国の保健師が公衆衛生の最前線に立ち、いのちと向き合って活動を続けたことに敬意を表するとともに、コロナ禍で明らかとなった多くの課題の解決や関係機関・多職種との連携強化などに向け、保健師の活動はどうあるべきか思考する時期にあると述べられました。

続いて、川崎市立看護大学副学長の荒木田美香子氏から、昨年度実施された「保健師の活動基盤に関する基礎調査」の結果を踏まえた基調講演がありました。調査では、回答者19,994人の8割以上がCOVID-19業務に従事し、4割が45時間以上の時間外勤務を実施したことが明らかとなったほか、「部署横断的な対応・連絡調整や連携」で人員配置等を行った統括保健師の役割の重要性が明確となったことがポイントだと述べられました。

シンポジウムでは、「ポストコロナにおいて、活動領域を超えた看護職間の連携強化に向けて」をテーマに、4人のシンポジストから話題提供がなされ、多くの気づきや学びを得ることができました。この交流集会の資料は、今後、キャリアースに掲載される予定ですので、皆さん、是非ご覧ください。

(保健師職能委員長 後藤 未央子)

令和5年度 全国助産師交流集会

コロナ禍の社会は少子化を加速させ、妊娠・子育てにおいて多くの課題をもたらしました。助産師にはこれまで以上に妊娠期から子育て期への包括的な切れ目のない支援が求められています。一方、思春期や更年期など様々なライフサイクルにある対象の性と健康を支えるさらなる活躍も期待されています。今年度の全国助産師交流集会は、「女性とその家族の支援について考えよう」をテーマに、東京ベイ幕張ホールで開催されました。

井本寛子委員長からの挨拶に続き、基調講演「母子保健と女性の健康支援に関する国の動向」（講師：こども家庭庁成育局母子保健課 吉川裕貴推進官）がありました。こども家庭庁創設の経緯や成育基本法等の基本方針をふまえた母子保健や女性の健康支援の動向について紹介いただきました。

次に教育機関への出前授業に関する実践報告とともに、生涯を通じた女性とその家族への支援の実際について発表がありました。後者については医療機関での更年期相談対応の他、助産所での女性のための暮らしの保健室等の実践報告でした。

すべてのライフステージにおける性と健康を支える助産師の役割について、好事例を通して本県の現状と課題を再考する貴重な機会となりました。

（助産師職能委員長 蛸崎 奈津子）

令和5年度 全国看護師交流集会Ⅰ 病院領域

2023年度全国看護師交流集会Ⅰ病院領域は6月8日幕張メッセにおいて開催され、1,060名が参加しました。看護師職能委員会Ⅰの昨年度の活動は、病院看護師が各病床機能で求められる役割を確認し、看護管理者間や多職種と連携して各病床機能の看護をつなぐマネジメント。スペシャリストが地域で役割発揮できる仕組み作りの必要性。新型コロナウイルス感染症の影響下での若手看護師の就業状況より、退職判断の早さやWLB重視の働き方傾向から、離職や潜在看護師防止のためには基礎教育との連携や離職希望者を他施設紹介する等を共有しました。

今年度は看護職員の処遇改善、多様で柔軟な働き方等の推進、看護の専門性に資するタスク・シフト／シェアの推進に関する好事例の収集・周知に取り組みます。基調講演・シンポジウムでは、今後、労働人口が減少する中で、地域の医療提供体制を支えるための確実な看護職の人材確保と安心してやりがいを持ち働き続けられる職場環境づくりの好事例が示されました。参加者との熱い意見交換が行われ、全国の看護師のエネルギーを感じることのできる交流会でした。次年度は東京開催です。会の様子は日本看護協会ホームページで配信される予定です。

（看護師職能委員長Ⅰ 千葉 真理子）

令和5年度 全国看護師交流集会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域

看護師職能委員会Ⅱ委員長の田母神裕美氏（日看協常任理事）より、2022年度活動報告及び2023年度活動方針の説明後、DX（デジタルトランスフォーメーション）についての情報提供とパネルディスカッションが開催されました。

国民の健康増進、切れ目のない質の高い医療等の効率的な提供や業務効率化等を視野に入れた病院・薬局・訪問看護ステーションなどの医療機関におけるDXは、講師が看護師として勤務した経験を基に情報管理を電子化した視点からの報告でした。ディスカッションでは、介護老人福祉施設からタブレットやインカムを導入し看護職と介護職の情報共有と時間短縮を図ったこと、訪問看護ステーションからは、利用者の便秘状態を確認し可視化するためにエコーを導入し活用するため、技術を習得したことも含め発表されました。

また近年、高齢者の医療をめぐる問題として必要以上の薬や不要な薬が処方されることで、有害事象などの問題を引き起こす「ポリファーマシー（多剤併用）」について老人看護専門看護師より、弊害を回避するポイントとして「関心をもって高齢者をみる」「多職種との情報の共有」等の大切さが伝えられました。会場では活発な意見交換が行われ、学びを深める交流集会となりました。

（看護師職能委員長Ⅱ 井上 和子）

令和5年度 岩手県看護協会通常総会開催 報告

令和5年度岩手県看護協会通常総会は、6月17日（土）に盛岡市民文化ホールで開催致しました。

新型コロナウイルス感染症が5類になったことを機に、人数制限せずの開催でしたが、医療に携わる多くの参加者の皆様には、感染対策に留意した対応をしていただき感謝致します。

相馬一二三会長から、新型コロナウイルスの感染症対応に真摯に向き合い、看護の力で乗り越えた看護職の皆様へ敬意と謝辞が述べられました。

議決事項は、第1号議案「令和5年度改選役員および推薦員並びに令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について」、第2議案「令和4年度決算（案）および監査報告」とともに、委任状を含め過半数の賛成を得て承認されました。

報告事項では、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、令和5年度資金収支予算及び収支予算、「令和6年度公益社団法人岩手県看護協会通常総会 開催地」の4点について報告を行いました。

令和5年度の強化すべく事業内容は、「看護職の実践能力の向上・専門性の発揮とその体制整備への支援」、「健康と療養を支える地域包括ケアの推進」、「看護職の労働環境の整備の推進」、「看護職の役割拡大の推進」、「組織基盤の強化」、「感染症拡大及び災害発生時における対応体制の整備」の6項目です。重点課題は、「准看護師養成の停止」、「看護師基礎教育の4年制化」、「ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築」の3項目です。

コロナ禍で様々な経験から、中規模の病院や高齢者施設の看護職を対象とした感染リンクナースの養成や岩手県看護協会ホームページから研修申し込みが可能な「研修管理システム（マナブル）」の運用の開始など新たな取り組みに関する情報提供を行いました。

看護職は、地域の医療保健福祉において、患者やご家族の視点を重視した看護実践を遂行しております。社会ニーズに対応すべき期待は一層、高まってきていると同時に岩手県看護協会は柔軟に対応すべき活動を展開していく所存です。

令和5年度は、この総会での決議に基づき、事業を進めて参ります。

これからも皆様の更なるご支援・ご協力をお願いいたします。

（副会長 佐藤 悦子）

【役員を選定】

副会長	佐藤 悦子	奥州地区理事	菅原 宏 則
専務理事	高橋 弥栄子	一関地区理事	菅原 洋 子
常務理事	目時 のり	大船渡地区理事	高橋 美 保
書記理事	高橋 佳世子	宮古地区理事	三河 良 子
会計理事	千葉 るり子	久慈地区理事	山田 由美子
盛岡地区理事	久保田 桜	二戸地区理事	齋藤 薫
北上地区理事	吉川 朗		



看護協会長表彰の授与

令和5年度 岩手県看護協会 職能合同集会を開催しました

日時 令和5年6月17日（土） 14:00～15:30

講演 「いかす・つくる・つなぐ 裂き織から生まれる色とりどりの可能性

—いのちの現場へのエール—

演者 株式会社 幸呼来 Japan（さっくらじゃぱん） 代表取締役 石頭悦氏

座長 公益社団法人岩手県看護協会 副会長 佐藤悦子氏

本年5月8日、新型コロナウイルス感染症は感染症法の5類へ移行されましたが、皆様は変わらずに感染対策に尽力されていることと思います。今年度の職能合同集会は、生活者であるとともに医療従事者として新型コロナウイルス感染症と対峙してきた看護職が、「元気」「活気」「勇気」をもち、こころに元気を呼び戻し歩む活力を得る機会とするため、裂き織を通じ障がいのある人たちの力を発信している、幸呼来 Japan 代表の石頭悦氏を講師に迎え開催しました。

障がいのある人たちに対する考え方の変化、障がいのある人たちが身につけた裂き織の技術を継承するために、自身の信念のもとに歩んだ道のりを事業所の作業風景を交えて紹介していただきました。裂き織を作成する一つひとつの過程を大切に、責任をもち取り組んでいる姿は、看護職の看護過程も同様で、それぞれの役割を繋ぎ織りなしていると感じる場面でした。

当日は135名（保健師20名、助産師9名、看護師I 92名、看護師II 14名）の参加がありました。会場からは、「各々の違いを認めあい心豊かに過ごせる社会」を目指した設計図は、地域包括ケアシステムのそれぞれの担う役割を示した姿に通じたとの感想が聞かれました。また、障がいのある人たちへの対応や気分転換の方法、裂き織の配色やデザインなど作成過程の質問もあり、伝統技術「裂き織」の知識を深める機会となりました。アンケートでは「職域の異なる分野の話は新鮮で感銘を受けた」「癒される内容でリフレッシュできた」「廃棄されるものから新たな価値を作り上げた講師のバイタリティに元気をいただいた」等、まさに「いのちの現場へのエール」を受け取った感想をいただきました。

8月には、岩手を代表する祭りの一つ「さんさ踊り」が開催されます。幸呼来 Japan の裂き織の思いを感じ、医療従事者にとってもリフレッシュできる夏になることを願うとともに、それぞれの職務に臨んでいるすべての看護職の皆様に感謝申し上げます。



座長の佐藤副会長



着物姿の講師、石頭氏

令和5年度 看護の日 記念行事

5月13日(土)いわて県民情報交流センターアイーナにおいて、「看護の日」記念行事～看護の心をみんなの心に～が中高生130名の参加で開催されました。今回、「看護の日」のキャラクター“かんどちゃん”の着ぐるみを初公開し、会場入口でお出迎えしました。

オープニングセレモニーでは、「忘れられない看護エピソード」の中から2作品の朗読が行われ、参加者がそれぞれの作品を真剣に聞いている様子が見られました。

看護の魅力発信～現場で活躍するプロフェッショナルの紹介～として、第1部では、現役の看護師・助産師・保健師とIBC岩手放送アナウンサー 長谷川拳杜氏を交え、各職種の普段の仕事内容、資格取得までの方法、志望動機などのお話がありました。参加者は知りたい情報など、メモを取って聞いていました。その後の質疑応答では、「印象に残っている場面」「高校生のうちから意識しておいたほうがいいこと」「休日ほどのくらいもらえるか」等の質問があり、3人の看護職から具体的にわかりやすく話していただき、とても有意義な時間となりました。

第2部の講演は、くくる花巻訪問看護ステーション所長で訪問看護認定看護師の平澤利恵子氏から「訪問看護の魅力」と題して、訪問看護認定看護師としての役割や実際の訪問看護での事例を交えて、具体的に熱く語っていただきました。

今回の記念行事やふれあい看護体験を通して、看護職それぞれの魅力について知ることができ、ますます看護職に興味を持ち目指すきっかけとなったのではないのでしょうか。参加した皆さんと、いつか一緒に働けることを楽しみにしています。

(広報出版委員 及川 小楨)



“かんどちゃん”を囲んで、シンポジスト、長谷川アナ



真剣に聞き入る参加者



令和4年度「地域別懇談会」開催報告

5地域で開催している「地域別懇談会」は、コロナ禍であった昨年11月から今年1月にかけて、感染対策を考慮し、試行的にオンライン開催としました。(盛岡地域は参集開催)

懇談会では、令和4年度事業実施報告等並びに令和5年度事業方針等について本部より説明後、各支部から事業報告がありました。その後、2つのテーマで意見交換を行いました。

テーマ1 「地域を視野に入れた人材育成について」 ※出された意見等抜粋

- ▶ 感染管理認定看護師育成にあたり、県や日看協の助成支援もあったが、コロナ禍で長期に人材を派遣できなかった。また、一部であるが疲弊した認定看護師を間近に見ていた看護師から次世代候補が出なかったことも要因の一つ。
- ▶ 認定看護師だけでなく、**感染のリンクナースの育成が必要**と感じた。協会でも取り組もうとしているリンクナース育成・登録事業をぜひ進めてほしい。
- ▶ 地域のネットワーク構築のため、看護管理者のメーリングリストがあるのは1支部のみだが、今後は全支部で検討していく必要があるのではないか。

テーマ2 「組織基盤強化における会員加入促進について」 ※出された意見等抜粋

- ▶ 出産を契機に一旦退会する必要があるが、現実再加入する者は少ない。休会扱いがあればよい。(→日看協で一元管理しており休会カテゴリがない。今後要望していきたい)
- ▶ 会員の意義を伝えるのみでなく、目に見える**“会員メリット”**を希望する。

【出席者数】 ※盛岡地域のみ、マリオス会議室に参集し開催

地域(支部)	開催日	理事等	支部等	計	合計
県北(二戸・久慈)	11/12	16	30	46	211名
県南(一関・大船渡)	12/10	16	26	42	
中央(花巻・北上・奥州)	12/17	14	29	43	
盛岡	R5.1/7	19	28	47	
沿岸(釜石・宮古)	R5.1/21	14	19	33	

GOOD NEWS!

ご要望に応え、会員特典を設けました～!!

その1 令和5年度に新規入会された方へ(再加入含む)

※教育部指定研修の無料受講(3研修のうち1つ)

その2 令和5年度の全会員の皆様へ(新規・継続)

※岩手鶯宿温泉「長栄館」宿泊割引(会員及び同伴の大人)



※詳細は、**同封チラシ又は岩手県看護協会ホームページをご覧ください!!**

令和4年度 WLB推進フォローアップ・ワークショップ開催報告

令和4年度「中小規模病院を対象としたWLB推進フォローアップ・ワークショップ」は、新型コロナウイルス感染症がまん延していたため委員会メンバー以外はオンライン参加とし、令和5年1月28日（土）岩手県看護研修センターで実施しました。1年目の未来の風せいわ病院、2年目の孝仁病院、3年目の岩手県立東和病院・奥州市総合水沢病院の4施設31名、一般は7施設から20名が参加しました。日本看護協会労働政策部看護労働課長 小村由香氏より“就業継続可能な看護職の働き方の提案”というテーマで講義があり、その後、それぞれの参加施設より成果や今後の課題について報告がありました。オンライン開催でしたが、活発な意見が交わされ、「ここで働き続けたいと思える環境を作れるように今後も頑張っていく」という機運が高まりました。最後に会長より3年目の2施設にモニター越しで「ナースそばっち賞」を贈呈しました。

（ナースセンター事業部長 種市 幸子）



オンラインで参加していただいた小村由香氏



ナースそばっちの贈呈

ハローワーク「看護のおしごと相談」

岩手県看護協会ナースセンター事業部では、県内の看護職員確保・定着を目指し無料職業紹介事業を実施しています。

平成25年11月からは、公共職業安定所との連携・協働による人材確保及びマッチング機能の強化を図るため、盛岡ハローワークにて「看護のおしごと相談」を開始しました。平成27年には、宮古、釜石、大船渡、水沢、二戸の6か所で、平成28年は一関、久慈、平成29年からは北上、花巻が追加され、全10か所のハローワークにて実施し現在に至っています。

各ハローワークで相談対応をしている相談員は20人となりました。相談員の皆さんは、看護経験や管理経験が豊富で、求職・求人相談だけでなく、家庭や職場での悩み、不満等に柔軟に対応していただいています。

ハローワークは多くの職種に対応している場所ですが、「看護のおしごと相談」は看護職専門店と言えます。どんな小さな事であっても会場に来ていただき、ご相談を受けたいと思います。

ハローワークの「看護のおしごと相談」とナースセンターは予約不要・無料で開催していますので、求職活動の看護職の方々、看護職を採用希望の施設の方々のご活用ください。



特定行為看護師・ナースプラクティショナー(NP)紹介

特定行為研修修了者の活動状況

岩手県立磐井病院
クリティカルケア特定認定看護師
小野寺 康



私は ICU 勤務時代、10 代の重症頭部外傷患者の終末期ケアを十分に行えなかった経験をきっかけに、2022 年度にクリティカルケア特定認定看護師の資格を取得しました。

救急外来に所属し、勤務日の朝 1 時間を活動時間として病棟の人工呼吸器装着患者を中心にラウンドを行なっています。ラウンドでは認定看護師としての実践・指導・相談の他、必要に応じて人工呼吸器の設定変更等（以下設定変更）を行います。また呼吸ケアサポートチームによるラウンドでも設定変更を行うことがあります。特定行為を看護師が行うメリットは、医療の即時性や医師の負担軽減に限ったことではありません。人工呼吸器の治療効果を最大限に発揮するためには、設定変更のみではなく口腔ケアや体位調整、挿管チューブ固定の調整など日常的に行われる看護ケアが重要であり、特定看護師がその中心的役割を担うことができると考え活動し

ています。

当院では今年度「特定行為チーム」が立ち上がりました。医師や多職種と協働し院内での周知活動、マニュアルや事故対応フローの整備など、特定看護師が円滑に活動を行える基盤づくりを行っています。また今年度 4 名が当院で特定行為研修を受講予定であり、特定行為チームを中心に研修のサポートを行う予定です。さらに今後は後進育成にも取り組み、認定看護師以外からも特定看護師を養成できる教育体制も必要と考えています。

一関市では既に高齢化率 36.8% に達しており、救急外来に搬送される患者も高齢者が多くの割合を占めます。全国的に高齢化率の早い当地域での院内外における特定看護師の活動のあり方を検討し、最善の形で役割を十分に発揮できるよう取り組んでいきたいと思っています。



診療所における診療看護師（ナース・プラクティショナー：NP）

小坂内科消化器科クリニック
NP 友安 弘美

NP とは医師不在下でも、医師の包括指示のもとで 21 区分 38 項目の特定行為全てを実践できるのみならず、医師の直接指示のもとで処方・薬剤や放射線オーダー・エコー等の生理機能検査等の相対的医行為の実施も可能であり、医師の直接監督のもとで気管挿管・胸腔腹腔穿刺等の侵襲的処置の実施も可能な看護師です。2023 年 4 月現在全国で 759 名が活躍しています。病院で急性期医療に携わる方がほとんどですが、私は違います。

高齢化社会で医療が病院完結型から地域完結型へ移行する中、在宅医療の役割は増大する一方ですが、携わる医師は極めて少ないのが現状であり、こうした医師過疎の医療現場でこそ NP の真価が問われると考えています。

医療は医師が担う Cure（治療）と看護師が主に担う Care（ケア）に分けることができます。両者に明確な境界はありませんが、どちらが欠けていても患者様の満足度は得られません。NP は Cure の

視点と Care の視点の双方からのアプローチが可能であり、また医師・他職種・患者・家族との連携・協働を容易にできることも利点です。

私は現在小坂内科消化器科クリニックに勤務しており、外来では臨床推論や OSCE（オスキー・客観的臨床能力試験）を駆使して診察前問診から患者さんの状態把握・トリアージを行い、訪問診療では胃瘻交換・経鼻胃管交換・膀胱瘻交換等も実施しています。

NP としては駆け出しであり、まだできることは限定的ですが、小坂先生の指導をいただきながら勉強中です。そして、たとえ先生が外来や検査で対応できなくとも、先生の指示のもとで在宅の患者様に対し、遅滞なく適切な Cure と Care を提供し、患者様の満足度に貢献できるよう日々精進していきたいと思っています。



ヘルシーワークプレイス!!

ー健康で働き続けられるためにー

シリーズ No.1

今回はヘルシーワークプレイスについて紹介します



みなさん こんにちは 社会経済福祉委員会です。

私たちは看護職一人ひとりが、安心して働き続けられるように「労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス～（2018 日本看護協会）」の周知に取り組んでいます。

2020 年度に委員会で実施した「岩手県内の病院に勤務する看護職の勤務環境に関する実態調査」結果から、課題のひとつに健康支援があげられています。みなさんの職場がさらに「健康的な職場」となるような情報をシリーズでお伝えします。



第1回目は、「ヘルシーワークプレイス」の定義について

「ヘルシーワークプレイス」は、職場を取り巻く地域社会や患者も含めて、すべての人々が互いの人権を尊重しあうことを基本として、次の3つが定義されています。



- (1)一人ひとりが健康で安全に自分らしく働きながら自己実現していくことができる職場環境・風土
- (2)組織が職員を業務上の危険から守り、一人ひとりの健康支援に取り組む職場環境・風土
- (3)職員と組織の活力を生み出すことで、患者へのケアの質を向上し、社会への貢献を目指す職場

みなさんの職場でも、看護職を守るための労働安全衛生の取り組みが行われていると思います。できることからひとつずつ「ヘルシーワークプレイス」づくりを一緒に進めていきましょう。

次回は「夜勤勤務」について紹介します♪

2024 年度から、新たな「災害支援ナース派遣体制」として運用開始となります!!

感染症法・医療法改正により、国は災害と感染症に対応する看護職員の養成・派遣・確保を一体的に行うこととなりました。(2024 年 4 月 1 日施行) これを受けて日本看護協会(各都道府県看護協会)では、国主導による新たな応援派遣体制を構築していくこととなります。

○従来の災害支援ナースについて○

- ▶ 現行の災害支援ナース育成研修は終了します。
- ▶ 2023 年度内の災害発生時の対応は、従来の災害支援ナースを派遣調整します。

○新たな災害支援ナースの養成、応援派遣体制の構築(移行)について○

- ▶ 2023 年度から新たな災害支援ナースの養成研修を実施します。
- * 新たな応援派遣に対応できる研修として、オンデマンドで「総論」「災害各論」「感染症各論」を受講し、各都道府県看護協会で「演習」を受講します。(一部受講免除あり)
- * 研修修了者はリスト登録され、岩手県及び看護協会で管理します。

新たな「災害支援ナース」の養成に向け、従来の災害支援ナース登録者が新たにチャレンジしていただけるよう、看護管理者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

※日本看護協会ニュース3月号をご覧ください!



いわての ナースセンタ 78号 だより

岩手県ナースセンターはあなたを応援!!



ナースセンターは、ライフスタイルに合った働き方を一緒に考え あなたのキャリアを支援します

岩手県ナースセンターは無料職業紹介などによる看護職の確保に加え、離職防止や潜在化予防のために就業相談をおこない、職場定着の促進に取り組んでいます。

県内ハローワークとの連携による「看護のおしごと相談」をおこない、看護職の皆さまがナースセンターを利用しやすい環境を整えています。看護職の皆さまをサポートするために、主に以下のような活動を行っています。

令和5年度 ナースセンター事業

1. 看護職の人材確保・定着の促進に関する事業

- 求人求職の無料職業紹介・相談
 - ・ 県内 10 か所のハローワークにて 2 回 / 月実施
 - ・ 県民情報センター（アイーナ）
- 5 月から 1 回 / 月「看護のおしごと相談」を開催
- ・ 岩手県ナースセンター（岩手県看護研修センター）
- 時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
- 休日：土曜日・日曜日・祝日
- 振替休日・お盆・年末年始

- 離職時等の届出制度に関する支援事業（とどけるん）
- 看護職再就業支援研修会
- シミュレーター活用による採血演習・吸引演習、DVD 視聴研修

研修日：9月6日、20日 11月8日、22日（事前予約をお願いします）

研修日以外で希望される場合は、ナースセンターまでご連絡ください。

- セカンドキャリアセミナーを久慈市（11月2日）と盛岡市（11月29日）にて開催
（定年退職・定年退職を控え働き続けていきたい方、40才以上でキャリアチェンジを考えている方）
- 地域に必要な看護職確保推進事業 二戸市、葛巻町、宮古市で開催

2. 看護職の労働環境等の改善による働き続けられる環境づくりの推進に関する事業

3. 「看護の心」普及事業

- 看護の日記念事業
- 看護の出前授業（中学生、高校生）
- ふれあい看護体験
- 看護職を目指す中高生のための進学セミナー

4. 訪問看護支援事業

- 訪問看護基礎研修 訪問看護への就業支援、訪問看護師定着と資質の向上
- 訪問看護に関する相談・支援、情報提供

お問合せ・連絡先：岩手県ナースセンター

TEL:019-663-5206 e-mail:iwate@nurse-center.net

看護のおしごと相談開催日時

開催場所	開催日時	開催場所	開催日時
ハローワーク 久 慈 久慈市川崎町 2-15	第1・3木曜日 10時～12時 13時～15時	ハローワーク 水 沢 奥州市水沢東中通り 1-5-35	第2・4水曜日 10時～12時 13時～15時
ハローワーク 花 巻 花巻市内9-27 花巻合同庁舎1F		ハローワーク 一 関 一関市山目字前田13-3	
ジョブカフェ さくら 北上市芳町 2-8 北上地区合同庁舎1F		第2・4木曜日 10時～12時 13時～15時	ハローワーク 二 戸 二戸市石切所字荷渡 6-1 二戸合同庁舎1F
ハローワーク 釜 石 釜石市新町 6-55			ハローワーク 盛 岡 盛岡市紺屋町 7-26
ハローワーク 大船渡 大船渡市大船渡町赤沢17-3 大船渡合同庁舎1F	ハローワーク 宮 古 宮古市小山田 1-1-1 合同庁舎1F		
アイーナ 7階 控室713 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1	令和5年5月～9月 第3土曜日 10時～12時 13時～15時		



e ナースセンターを上手に活用しましょう

e ナースセンターとは、インターネットを用いた無料職業紹介システムです。

ナースセンターでは、登録していただいた方を対象に、看護職の職業紹介をしています。

対象者

- 就職先をお探しの看護職の方
- 看護師等養成所を卒業見込みの看護学生
- 看護職をお探しの求人施設、事業者

パソコンやスマートフォンで入力できますので、登録し求人施設、求職者検索を行ってみませんか。

e ナースセンターアドレス

<http://www.nurse-center.net/nccs/>



* 求人登録・求職登録の有効期限は、6ヶ月となっております。

* 登録内容に変更があった場合・不明な点は、ナースセンターまでご連絡下さい。

インターネットによる利用の流れ

お仕事探し（求職者）

お仕事探し（求職者）
勤務地・待遇などの条件に合う
求人情報を簡単に検索できます。

看護職情報登録（ユーザー情報登録）

就業希望条件を登録

自動マッチング

希望条件に合った求人情報を紹介

直接応募

ナースセンター経由

面接

就業

看護職（人材）を探す（求人施設）

条件に合致した看護職（人材）を
簡単に検索することができます。

施設情報登録

求人情報登録

求職者を検索

直接オファー
条件にあった求職者へ
メッセージ送信

e ナースセンターから
求職者紹介

面接

採用

施設のPRが
できます！

令和4年度 岩手県ナースセンター 登録・相談・就業状況

登録状況

2023.3.31現在

区分	求職者数	求人数	求人件数
保健師	9	11	6
助産師	2	3	2
看護師	184	322	226
准看護師	20	9	8
計	215	345	242

相談状況

2022.4.1～2023.3.31 (単位:件)

区分	求職相談	求人相談
保健師	199	128
助産師	64	46
看護師	5,292	2,858
准看護師	528	115
学生他	18	1
計	6,101	3,148

就業状況

2022.4.1～2023.3.31 (単位:人)

区分	病院			診療所			その他				合計
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	その他	計	
保健師	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2
助産師	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
看護師	6	9	15	4	1	5	8	17	108	133	153
准看護師	2	0	2	0	0	0	1	2	2	5	7
計	9	9	18	5	1	6	9	20	110	139	163

*岩手県ナースセンターの紹介による就業者数

みんなで話そう 看護の出前授業 実施報告

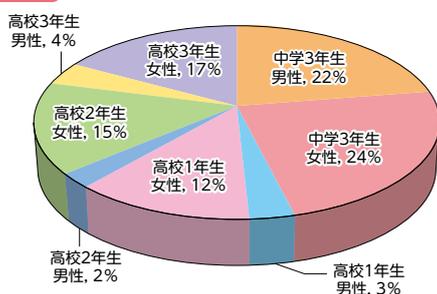
中学生・高校生を対象に、「看護職への道」「看護職の仕事」「命の大切さ」「こころとからだの話」に関する授業や「赤ちゃん抱っこ体験」等看護技術体験を、開催地区で就業している看護職の方を講師にお招きし、実施しています。令和4年度は県内9校の中学校・高校から333名の参加がありました。

参加者からの感想

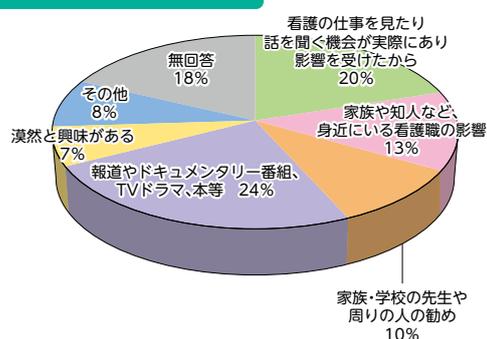
- ♥ 「看護師だけでなく、保健師・助産師という職業を詳しく知ることができた」「仕事のやりがい、仕事に対する強い思いが伝わった」「自分の進路に向かって、学んだ事を活かしていきたい」
- ♥ 「命の大切さ・こころとからだの話は具体的でありイメージができた」「初めて自分の心臓の音を聞いた」「赤ちゃんの重たさにびっくりした」
- ♥ 「実際仕事をしている方の講義や看護体験は学校では学べない。出前事業でしか聞くことができない内容だった」等の多くの感想をいただきました。



参加者年齢



看護職をめざしたきっかけ



教育部より



I マナブル・・・お使いになっていかがですか？

会員の皆様、研修管理システム“マナブル”を活用いただきありがとうございます！
4/17稼働後、手順書に沿い円滑に登録いただき、大きなトラブルなく経過しております。
登録施設、個人ともに日々増えており、ご協力に感謝申し上げます。
看護協会ホームページによくある質問、マナブル Q&A を掲載しておりますのでご一読ください。

II 今年度新規会員・再入会会員への特典について

今年度の新規会員と再入会会員の方は、一般研修 No.15（事例でわかる検査データの読み方）、No.17（がん患者のスキンケア）、No.18（慢性心不全患者の療養生活を支える看護）のいずれか一つの研修受講料が無料となります。これらの研修は、マナブルで申し込む際、二つの表示が出ます。該当する方は、令和5年度新規入会・再入会の方と記載されてある方からお申込みください。

看護協会入会のご案内 令和5年度入会受付中！

※有効期間は、令和5年4月1日～令和6年3月31日までの1年間です。

継続・再加入

■日本看護協会年会費 …………… 5,000円
■岩手県看護協会年会費 …… 10,000円
合計 …………… **15,000円**

新規加入

■日本看護協会年会費 …………… 5,000円
■岩手県看護協会年会費 …… 10,000円
■岩手県看護協会入会金 …… 20,000円
(初回のみ)
合計 …………… **35,000円**

他県転入者

令和5年度に都道府県看護協会に既に会費を納入されてきた方で、岩手県看護協会に初めて入会する方
■岩手県看護協会年会費 …… 免除されます
■岩手県看護協会入会金 …………… 20,000円
合計 …………… **20,000円**



未加入の方への入会のお誘いをお願いします

【問合せ】公益社団法人岩手県看護協会 事務局 ☎ 019-662-8213 まで

・会員限定の看護職賠償保険に加入したい。
・研修に会員として参加したい。 など…

“今すぐ入会！”はこちらから→
【WEB入会】をご利用ください。



訃報

盛岡支部会員 齊藤敬子様が令和5年6月10日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

50th Anniversary 創立50周年
株式会社日本看護協会出版会

いつも“看護”とともに。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F
TEL: 03-5778-5712 <https://www.jnpsc.co.jp>



編集後記

新型コロナウイルスが5類に変更となり、協会事業も活発に行っています。今後も皆様に役立つ情報や協会事業をたくさん紹介していきたいと思えます。

PS. 表紙デザインを変更しました！お気づきになりましたか？